

# アクションプラン『わくわく音読』の中間評価

全校の子どもたちは、4月から音読や暗唱に取り組んできました。7月下旬に、各クラスで音読大会や暗唱テストを実施しました。そうすることで、自分の成果を振り返るとともに、友達の表現のすばらしさを味わうことができました。また、アンケートも行い、子どもたちの学習意欲や満足感を知ることによって、今後の学習に生かしていきたいと考えています。

## 1 音読

各学年が決めた教材を声の大きさに気をつけて音読した子どもの割合  
(1学期目標 75%以上)

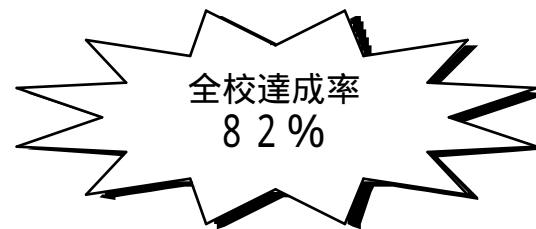
学年	選択した教材名
1	おむすびころりん
2	スイミ-
3	三年とうげ
4	白いぼうし
5	千年の釘にいどむ
6	森へ



## 2 暗唱

各学年の決めた教材を暗唱できた子どもの割合  
(1学期目標 75%以上)

学年	選択した教材名
1	のばすおと おだん
2	いろはうた
3	わたしと小鳥とすずと
4	山かつぎ
5	晴間
6	平家物語



## 3 子どもたちの学習意欲 -----児童アンケートより 音読や暗唱に取り組んでよかったと感じる子どもの割合

(1学期目標 75%以上)

1年・・・92%	2年・・・88%	3年・・・86%
4年・・・83%	5年・・・75%	6年・・・53%

<理由> -----好きである ----- あまり好きでない

みんなと大きい声を出すことができた。  
友達の音読の工夫を見つけることができる。  
音読や暗唱をすると、話す力がつく。  
家の人聞いてくれるし、いろいろな読み方をして楽しい。  
みんなとやった群読は、心が一つになっておもしろい。  
読んでいくと、作者の気持ちが伝わってくる。  
みんなの声がそろわなかった。  
少し面倒だし、時間もつぶれる。

## 4 考察

<対策>

- ・ 「話し合い DVD」「音読 CD」を子どもたちに提示し、友達と学び合い、創り上げる楽しさに共感できるようにする。
- ・ 音読や暗唱に適した魅力ある教材の開発に努める。
- ・ 学習期間を確保し、「できた」「よかった」という満足感を味わわせるようにする。
- ・ 暗唱教材は教室に掲示するなどして、教師も子どもとともに活動するよう努める。